

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
1	デジタル化推進事業(オンライン申請)	①新型コロナウイルス感染防止対策として、証明書発行関係のオンライン申請システムを導入し、非接触型の行政手続を可能とすることで、市民の利便性向上を図るとともに、窓口での混雑の緩和、来庁人数を減少させることで、市民の感染防止を図る。 ②オンライン申請システム使用料 ③112,500円×12月×1.1=1,485,000円 ④地方公共団体	R4.4	R5.3	1,485,000	1,485,000	オンライン申請システム使用料 112,500円×12月×1.1=1,485,000円	証明書発行のオンライン申請利用が900件以上あり、来庁機会を減少することができた。
2	公共施設Wi-Fi整備事業	①新型コロナウイルス感染防止対策として、市内の小中学校がオンライン学習等を行う場合に、家庭にネット環境がない児童生徒の学習の場としても活用できるよう公共施設へWi-Fi環境を整備する。 ②工事費 ③1,100千円×10か所=11,000千円 ④八代市各コミュニティセンター(代陽、太田郷、麦島、宮地、泉、松高、八千把、日奈久、昭和、東陽)	R4.11	R5.3	10,142,000	10,142,000	八代市内各コミュニティセンターへのWifi環境整備 (代陽、太田郷、麦島、宮地、泉、松高、八千把、日奈久、昭和、東陽)	Wifi環境が整備されることで、平時はイベントの開催など地域コミュニティの活性化やデジタルデバイドの解消につながった。避難所開設時には地域住民への情報発信や安否確認などの手段として利用できた。
3	新型コロナウイルス感染症対策事業(コミュニティセンター感染防止)	①新型コロナウイルスへの感染リスク低減を目的に、コミュニティセンター施設内で空間除菌を行う。 ②市有施設であるコミュニティセンター21施設への無塩微酸性電解水噴霧器設置に係る経費 ③無塩微酸性電解水購入 4,450円×100箱×10カ月×1.1=4,895千円 ・噴霧器リース料 3,135円×138台×12カ月×1.1=5,711千円 ④コミュニティセンター21施設(全138か所)への設置	R4.4	R5.3	7,508,061	4,230,061	・アルコール消毒液 3,960円×20本=79,200円 ・無塩微酸性電解水 4,895円×351箱=1,718,145円 ・噴霧器リース料 138台475,893円×12カ月=5,710,716円	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設利用者により安心・安全な施設環境を提供することが出来た。
4	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症対策として、子どもプラザが消毒液等の感染症対策用品を購入することで感染防止対策を図り、新型コロナウイルス感染リスクを減少させる。 ②補助金(消耗品費、備品購入費) ③300,000円(基準額)×2か所 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):200千円充当 ④市内子どもプラザ2か所	R4.4	R5.3	545,848	183,848	事業対象施設:市内子どもプラザ2か所 消耗品費(再生ペーパータオル、抗原検査キット他):399,284円 備品購入費(バーテーション・加湿空気清浄機):146,564円 合計:545,848円	施設内に新型コロナ対策用の備品や消耗品を用意することができ、基本的な感染症対策の徹底が図られた。安心して施設を利用できる環境となった。
5	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症対策として、放課後児童クラブが消毒液等の感染症対策用品を購入する費用を補助することで感染防止対策を図り、新型コロナウイルス感染リスクを減少させる。 ②補助金(消耗品費、備品購入費) ③定員19人以下:300,000円(基準額)×5か所=1,500千円 定員20~59人:400,000円(基準額)×24か所=9,600千円 定員60人以上:500,000円(基準額)×6か所=3,000千円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):4,700千円充当 ④市内放課後児童クラブ35か所	R4.4	R5.3	12,958,680	4,320,680	事業対象施設:市内放課後児童クラブ35か所 放課後児童健全育成事業者が新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため臨時休業せざるを得なかった期間に、利用者が利用しなかった日の日割り利用料について、利用者へ返還する費用。 利用料減免(18クラブ):1,436,680円 感染対策補助金(消耗品費、備品購入費):11,522,000円 合計:12,958,680円	・新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが見えない中、臨時休業せざるを得なかった期間かつ利用者が利用しなかった日の日割り利用料について、利用者へ返還する費用を確保することができた。 ・施設内に新型コロナ対策用の備品や消耗品を用意することができ、基本的な感染症対策の徹底が図られた。安心して施設を利用できる環境となった。
6	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症対策として、子育て支援センターが消毒液等の感染症対策用品を購入する費用を補助することで感染防止対策を図り、新型コロナウイルス感染リスクを減少させる。 ②補助金(消耗品費、備品購入費) ③300,000円(基準額)×6か所=1,800千円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):600千円充当 ④市内子育て支援センター6か所 内訳)私立支援センター5か所、公立支援センター1か所	R4.4	R5.3	1,545,100	515,100	事業対象施設:市内子育て支援センター6か所 消耗品費・備品購入費:1,545,100円	施設内に新型コロナ対策用の備品や消耗品を用意することができ、基本的な感染症対策の徹底が図られた。安心して施設を利用できる環境となった。
7	保育対策総合支援事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症対策として、私立保育所等が消毒液等の感染症対策用品を購入する費用に補助金を交付するとともに、公立保育園における感染症対策用品を購入することで感染防止対策を図り、新型コロナウイルス感染リスクを減少させる。 ②補助金(消耗品費、備品購入費) ③定員19人以下:300,000円(基準額)×8か所=2,400千円 定員20~59人:400,000円(基準額)×19か所=7,600千円 定員60人以上:500,000円(基準額)×38か所=19,000千円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):14,500千円充当 ④市内保育所等65か所 内訳)私立保育所等55か所、公立保育園10か所	R4.4	R5.3	25,660,244	12,838,244	新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品費、備品購入費、人件費等の補助。 事業対象施設:私立保育所53か所、公立保育所10か所 (私立保育所)22,847,000円 (公立保育所)2,813,244円 合計25,660,244円 【歳入】保育対策総合支援事業費補助金(1/2) 12,822,000円	保育所等に対して、新型コロナウイルス感染症対策用の消耗品費等の支援を行うことで、安心・安全な保育環境で感染症対策の徹底が図ることができた。
8	ICT活用販路開拓事業	①コロナ禍において農林水産物等の新たな販路開拓を希望する市内事業者を支援するため、大都市圏バイヤー等と市内事業者とのオンライン商談会を開催することにより、新型コロナウイルス感染リスクを減らしつつ、市内事業者の販路開拓を促進する。 ②委託料(オンライン商談会対策セミナー及びオンライン商談会開催経費) ③セミナー及び商談会開催経費:1,014千円 営業経費:101千円、消費税相当額:112千円 ④市内事業者	R4.7	R5.3	1,222,650	1,222,650	コロナ禍において農林水産物等の新たな販路開拓を希望する市内事業者を支援するため、大都市圏バイヤー等と市内事業者とのオンライン商談会を開催した。新型コロナウイルス感染リスクを減らすために非接触型のオンラインで実施した。 ■市内参加事業者:10社 ■参加バイヤー:7社 ■商談件数:25件 ■成約件数:4件	・オンライン商談に慣れていない事業者に対し、オンライン商談を経験してもらうことで、苦手意識を払拭することができた。 ・その結果、遠方での商談が難しい場合など、オンライン商談会の経験を活かし、自走して打合せや商談を行う事業者が現れた。 ・商談途中の事業者については、引き続きオンライン環境を活用した商談を実施するなど、コロナ禍における新たな販路拡大の1つとして有効な事業が展開できた。
9	八代市豪雨災害農産物張替支援事業	①新型コロナウイルス感染防止対策のための活動自粛要請の影響により、低迷した本市の基幹産業である「い業」の継続を支援することを目的に、令和2年7月豪雨により、り災した住居の農産物の新調・張替えを行う費用を助成する。 ②令和2年7月豪雨により、り災した住居の農産物の新調・張替えに対してその費用の一部を助成 ③13,000円×345量=4,485,000円 ④農産物を生産・販売しているいぐさ農家	R4.4	R5.3	881,000	600,000	申請者数:6件 張替枚数:77.5量 補助金額:881,000円	和室の減少を少しでも減らすことができ、農産物の需要を確保することにより、農業者の経営安定・事業継続に寄与できた。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
10	八代市新築住宅等量産導入事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策のための活動自粛要請の影響により、低迷した本市の基幹産業である「い業」の継続を支援することを目的に、新築時に八代産量産表を使用した量の導入費用の一部を助成することにより、量産表を使用した和室の設置を促進し、今後の量産需要確保を図る。 ②新築・増改築時に八代産量産表を使用した量の導入に対してその費用の一部を助成 ③5,000円×1,320量=6,600,000円 ④量産表を生産・販売しているいぐさ農家	R4.4	R5.3	590,000	590,000	申請者数:19件 張替枚数:118.5量 補助金額:590,000円	和室の減少を少しでも減らすことができ、量産の需要を確保することにより、農業者の経営安定・事業継続に寄与できた。
11	デジタル田園都市国家構想推進交付金	①本市の山間部にある廃校となった小学校を整備し、本市の大自然を満喫できるロケーションを提供することにより、コロナ禍において、サテライトオフィスやテレワークなどの新しい働き方を推進している企業を呼び込み、地域の活性化を目指す。 ②廃校となった小学校をサテライトオフィスとして整備するとともに、都市部の企業へ向けたプロモーション事業を実施。 ③施設清掃等 375,000円 既存備品処分 2,820,000円 施設改修 47,209,000円 プロモーション事業 11,677,000円 地域活性化支援事業 29,911,000円 ④旧 宮地東小学校	R4.4	R5.3	79,969,767	21,178,792	サテライトオフィス改修工事 38,684,767円 プロモーション事業委託 11,374,000円 地域活性化支援事業補助金 29,911,000円	サテライトオフィス改修においては、すでにオフィス飽和状態にある中心部以外への人流の喚起とともに、プロモーション事業において、そのPRを実施し、多くの関係・交流人口創出に繋がった。また、地域活性化支援事業においては「地域商社」事業を展開。地元産品を使った新商品開発と都市部での販路展開により大きなPR効果が得られた。
12	子育て世代のテレワーク就労支援事業	①テレワークを推進するための講座を行うことでコロナ禍においても感染拡大の防止と社会経済活動との両立を図り、特に子育て世代にフォーカスすることで、仕事と子育ての高立が可能な環境を整備することも目的としている。 ②委託費 ③講座準備費:79,000円(チラシ及びLPの作成) テレワーク講座運営費:10,000円×10人×18回=1,800,000円(人件費及びシステム使用料含む) 交通費:50,000円×3人×4回分=600,000円 一般管理費:247,900円(上記×10%) 合計:(79,000円+1,800,000円+600,000円+247,900円)×1.1=2,999,590円 ④子育て世代の市民	R4.6	R5.2	2,999,590	2,929,590	子育て世代のテレワーク就労支援事業委託 2,999,590円	実施初年度である令和4年度は、受講生7名のうち3名がテレワーク就労に繋がるとともに、その他の受講生についても修了後のフォローを実施。 また、内容等においても委託事業とともに内閣府のテレワークアワードを受賞する実績となった。
13	商店街活性化事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により疲弊した中心市街地の活性化を図るため、台車を作成し、商業者への利用を推進することで、イベントや出店等のチャレンジを支援し、中心市街地の賑わい創出を図る。 ②委託料 ③台車作成業務委託料:6,600,000円(内訳)1,000,000円×6台×1.1=6,600,000円 ④中心市街地に台車を希望する商業者	R4.9	R5.2	6,600,000	6,600,000	チャレンジショップ台車作成業務委託 6,600,000円	コロナ禍により中心市街地への来街者が減少していたが、当該台車を活用したイベントを開催することにより、来街者が増加し、出店者の意欲にも繋がった。
14	観光交流事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、「アウトドアツーリズム」「マイクツーリズム」「少人数旅行」など、新たな旅行形態が求められており、ニーズに合わせた観光情報を旅行者に提供するパンフレットを作成。パンフレットは5年間で10,000部配布を目標に、県内の観光施設での配布や、大都市圏での販促活動等に活用し、来代頂く素材として利用し、新型コロナウイルス感染症により疲弊している本市観光事業者等への支援の一助とする。 ②委託料 ③八代市総合パンフレット制作・印刷費 550円×10,000冊×1.1=6,050,000円 (オールカラー2OP 部数:10,000部) ④市内観光施設・市内観光事業者・物販事業者等	R4.7	R5.2	6,050,000	6,050,000	八代市観光パンフレット くるぶ特別編集版「八代市」作成業務委託6,050,000円	県内観光施設での配布や大都市圏での販促活動に活用したことで、観光入込客数の増加に繋がっており、地域経済の活性化に繋がった。
15	新型コロナウイルス感染症対策事業(学校施設等感染防止対策)	①新型コロナウイルス感染症防止のため、市立学校・園に対し消毒液等を配付し、基本的な感染症対策を講じる。 ②衛生用品等の購入費 ③手指消毒用エタノール1,000ml×1,020円×1.1=1,122,000円 手洗い用ハンドソープ110本×4,000円×1.1=484,000円 合計:1,606,000円 ④小学校、中学校、支援学校・幼稚園(全45校・園)	R4.4	R5.3	1,605,979	1,056,979	・手指消毒用エタノール購入:520,670円 ・石けん液購入:325,084円 ・抗原検査キット購入:686,950円 ・その他消耗品購入:73,275円	消毒液や石けん液をまとめて購入し学校へ配付したことで児童生徒等の新型コロナウイルス感染症防止対策に役立った。
16	学校保健特別対策事業費補助金	(特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業) ①特別支援学校のスクールバスについては、幼児児童生徒の安全上の観点から換気が行いにくく、3密となる恐れがあるとともに、重症化リスクの高い医療的ケア児等が乗車している場合があり、感染症リスクの低減を図る取組の強化を図るため、新型コロナウイルス感染症対策としてスクールバスを増便する。 ②スクールバスの増便に係る委託費 ③増便分の運行委託料 25,000円×2台×204日=10,200千円 ④特別支援学校	R4.4	R5.3	9,950,000	4,975,000	特別支援学校のスクールバスを2台増便し、利用者の3密回避を図り、感染症リスクの低減を図った。 ・スクールバスの増便に係る委託費 9,950千円	増便により、利用者の3密回避が図られ、スクールバスでのクラスター発生がなく、感染拡大防止に寄与した。
17	新型コロナウイルスワクチン接種に伴うタクシー利用助成事業	①高齢者の新型コロナウイルスワクチンの接種動向及び新型コロナウイルス感染症により利用が減少しているタクシーの利用促進を図る。 ②委託料(委託するタクシー事業者へ助成額を支払)、印刷製本費(チラシ、助成券の印刷) ③委託料:630円(初乗り料)×2回(往復)=1,260円 対象者[4,600人(3回目接種見込み数)+36,076人(4回目接種見込み数)]×タクシー利用見込み10%(これまでの利用実績より)=4,068人 1,260円×4,068人=5,125,680円 印刷製本費:チラシ35,000部×5.8円×1.1=223,300円 助成券35,000部×3.9円×1.1=150,150円 合計=5,499千円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金)2,749千円充当 ④タクシー事業者	R4.4	R5.3	7,501,210	5,245,210	委託料:6,674,450円 タクシー利用者 6,310人 印刷製本費:826,760円 内 チラシ 69,500部 482,405円 助成券 69,500部 344,355円	65歳以上の者の接種率向上及び、コロナ禍で利用者が低迷する等、タクシー事業者の収入の向上につながった。
18	保育所等における給食の質の確保支援事業	①コロナ禍における物価高騰の中にあっても、保育所等において、これまでと同様に質が確保された給食を子どもたちに提供することや保護者の実費徴収の負担を軽減する。 ②補助金 ③1食あたり20円(25食/月) 対象児童数4,440人×1食20円×25食×12か月=26,640,000円 ④市内保育所等57か所	R4.4	R5.3	12,417,540	6,266,540	給食に係る食材料費の補助。 私立保育所等 34施設 支出済額:12,417,540円 【歳入】 熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金:6,151,000円	物価高騰の影響を受ける保育所等の給食に係る食材料費を支援することで、コロナ前における物価高騰前と同様の質が確保された給食を提供でき、保護者の実費徴収の負担も軽減できた。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
19	八代市工芸作物燃油価格高騰対策支援事業	①コロナ禍における燃油価格高騰が続いていることから、燃油を使用する草や茶、葉たばこの工芸作物農家の負担を軽減するため、燃油代の一部を補助するもの。 ②令和4年度産のいぐさ、葉たばこ、茶に係る乾燥等を目的に使用したA重油・灯油の購入費の一部を補助。 ③補助額:33,497,000円 いぐさ・葉たばこ:19.7円×1,581,956.52=31,164,544円 茶:9.8円×2,38,000=2,332,400円 事務費:60,000円(郵便料) 合計:33,557,000円 ④市内のいぐさ・葉たばこ・茶農家 等	R4.6	R5.3	22,053,434	22,053,434	申請件数:267件 申請数量:1,594,337ℓ 補助金額:22,030,586円 事務費:22,848円	燃油価格が高騰し、農業所得が減少する中で、経費の一部を補助することにより、農業者の経営安定・事業継続に寄与できた。
20	八代市施設園芸燃油価格高騰対策支援事業(物価高騰対策分)	①コロナ禍における燃油価格高騰に係る施設園芸農家の負担を軽減し、もって農業経営の安定に寄与するため、燃油代の一部を補助するもの。 ②令和3年度産の施設園芸に係る加温を目的に使用したA重油・灯油の購入費の一部を補助 ③補助額:5円×30,000,000=150,000,000円 事務費:113,000円(郵便料) 合計:150,113,000円 (そのうち75,056,000円を国のR4予算で対応) ④市内の施設園芸農家	R4.6	R4.10	100,321,523	100,321,523	申請件数:605件 申請数量:27,081,821ℓ 補助金額:135,409,105円	本事業の成果目標を「施設園芸(加温)作付面積の維持」とし、県が公表する令和2年度と令和4年度産の作付面積を比較して効果検証を行うこととしている。 令和4年度産の作付面積は、令和6年3月に県から公表されることから、その際に効果検証を行う。
21	コロナウイルス感染症対策事業(デジタルプレミアム商品券)(第1弾)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰などに直面する市民や事業者への支援を目的にデジタル型プレミアム商品券を発行し、市民がデジタルを体感しながらお買い物をすることで、消費喚起・経済活性化を図る。 ②委託料・負担金 ③・デジタルプレミアム商品券委託料:93,000,000円 (内訳)管理システム構築・管理業務:5,700,000円 電子カード製作業務:1,049,400円 電子カード発送業務:50,441,080円 換金請求業務:1,884,000円 取扱店舗説明会:212,000円 取扱店舗申込対応:1,739,000円 導入準備・広報媒体:3,845,400円 コールセンター設置:6,660,000円 決済端末貸出:6,000,000円 一般管理費:7,253,700円 消費税:8,478,458円 ・デジタルプレミアム商品券負担金:492,000,000円 (内訳)カード式 400円×430,000口=172,000,000円 スマホ式 400円×800,000口=320,000,000円 ※査定時に端数切り捨て:△264,000円 (そのうち292,528,000円を国のR3予算で対応) ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):24,229千円充当 ④令和4年7月1日現在の八代市住民基本台帳に記載された方	R4.10	R5.1	314,209,328	191,142,328	デジタルプレミアム商品券委託料 93,000,000円 デジタルプレミアム商品券負担金 296,165,172円	全市民を対象とした経済対策を講じながら完全デジタル化で実施できたことで、市民がデジタルに触れる機会を創出でき、ひいては新型コロナウイルス感染症の予防に繋がりを、市民が安心・安全に買い物を楽しむことができた。
22	新型コロナウイルス感染症対策事業(観光復興キャンペーン)	①新型コロナウイルスの感染拡大等により宿泊者数が半減している。本市の旅館やホテルを支援するため、10,000泊を目標とした宿泊補助を実施する。また、観光関連事業者を支援するため、本キャンペーンの利用者に対し、物産館等で使用できるクーポン券を10,000枚を目標に配布する。また、本キャンペーン及び観光需要喚起のために地域団体が実施するPR等の取り組みを支援する。 ②キャンペーンを実施する団体に対する委託料(運営費及び事務費) ③宿泊補助:4,000円×10,000泊=40,000,000円 周遊クーポン券:1,000円×10,000枚=10,000,000円 自主PR事業補助:上限500,000円×6団体=3,000,000円 周遊クーポン印刷:68,200円 広告・販促費:1,608,800円 通信費:151,200円 事務管理費:171,800円 事業委託費:5,000,000円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金)充当予定だったがが充当しなくなった ④キャンペーン実施団体、旅館、ホテル、観光関連事業者、市内宿泊者	R4.7	R5.3	49,359,903	49,359,903	R4八代市観光復興キャンペーン業務委託 49,359,903円	本事業により宿泊等の需要が増加し、新型コロナウイルス感染症の流行により打撃を受けている宿泊事業者や観光関連施設等を支援することができた。
23	新型コロナウイルス感染症対策事業(八代城築城400年記念事業)	①八代城築城400年を契機として、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ本市の観光需要の喚起・観光客誘客に繋がる、八代城築城400年記念実行委員会が行う記念イベントに対して、経費の一部を補助するもの。 ②補助金 ③八代城築城400年記念事業等補助金:2,500千円(定額補助)(対象事業) ・八代城築城400年祭りイベント ・八代城築城400年記念事業(ギネス挑戦) ・八代城築城400年広報 ④市内観光施設・市内観光事業者等	R4.9	R4.12	2,500,000	2,500,000	八代城築城400年記念イベント事業補助金 2,500,000円	築城400年を盛り上げるため、民間団体を中心となって取組まれたもので、結果として、地域を巻き込み、一体となることで、入込客数の増加に寄与した。
24	デジタル田園都市国家構想推進交付金	①市内の道路(市道、県道、国道等)の工事に伴う交通規制状況や、令和2年7月豪雨の被災地における公共インフラの復旧状況や交通規制状況をデジタルマップ上で可視化し、市のHPやスマートフォンにて市民がリアルタイムに情報を取得できるシステムを構築することにより、市役所窓口での問い合わせや工事説明会等での接触機会を最小化することで新型コロナウイルス感染拡大の防止対策を講じる。 ②委託費 ③デジタルマップ表示機能、インターネット公開機能システムの構築費用:31,000千円 (内訳) ・ソフトウェア・システム開発費:25369千円 ・完成図書等作成費:2,100千円 ・操作研修費:712千円 ・消費税:2,818千円 ④地方公共団体	R4.4	R5.3	30,882,500	15,441,250	公共インフラデジタルマップ情報提供システム構築業務委託 30,882,500円	市内の道路工事に伴う交通規制状況や自然災害による公共インフラの復旧状況等を、市のHPやスマートフォンにて市民がリアルタイムに情報を取得できるデジタルマップ(Yoマップ)を運用したことで、市役所窓口での問い合わせや工事説明会等での接触機会を最小化でき新型コロナウイルス感染拡大の防止に繋がった。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
25	学校保健特別対策事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、児童生徒の学習保障をするための取組を支援する。 ②感染症対策に必要な消耗品・備品等 ③学校保健特別対策補助金(1校当たりの上限の1/2補助) ④コロナ感染症対策の消耗品・備品等の購入 小学校 24校 26,500,000円(内地方負担分 13,250,000円) 中学校 15校 16,000,000円(内地方負担分 8,000,000円) 支援学校 1校 3,600,000円(内地方負担分 1,800,000円) ④小学校、中学校、支援学校(全40校)	R4.4	R5.3	36,788,006	18,395,006	コロナ感染症対策の消耗品、備品等の購入 ・小学校 24校 22,673,622円 ・中学校 15校 12,146,794円 ・支援学校 1校 1,967,590円	各学校における感染症対策に必要な消耗品・備品の購入など、児童生徒の学習保障をするための取組を支援することで、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行うことが出来た。
26	新型コロナウイルス感染症対策事業(学校給食費支援)	①コロナ禍において物価高騰に直面する子育て世帯の生活支援を目的に、市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒一人当たりの給食費を減額する。 ②補償金として、給食費の減額相当額を補償する。 ③8,000名(園児・児童・生徒)×6,000円=48,000千円 ④市学校給食会、給食センター(東陽、千丁)、単独調理校	R4.4	R5.3	46,388,102	46,388,102	市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒1人あたりの給食費を年間最大6000円減額した。 ・市学校給食会 35,849,439円 ・給食センター(東陽、千丁) 4,322,547円 ・単独調理校 6,216,116円 計 46,388,102円	給食費を減額することで、子育て世帯の生活支援を行うことが出来た。
27	新型コロナウイルス感染症対策事業(図書館管理運営)	①コロナ禍において、在宅で過ごす時間を豊かなものとし、また「新しい生活様式」に対応するため、読書環境の充実を図る。 ②電子書籍の購入経費 ③3,557円×2,300コンテンツ×1.1≒900万円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金)3,000千円充当 ④電子図書館	R4.6	R5.3	9,000,000	6,000,000	⇒電子図書コンテンツ使用料 ①3,022,977円 児童書814点 ②3,535,778円 児童書861点 ③2,441,245円 児童書528点 計9,000,000円 コンテンツ数 計2,203点	来館することなく、24時間、どこにいても図書を読むことができる電子図書の需要がコロナ禍により高まってきた中、交付金によりコンテンツ数を増やすことで、多様な読書ニーズに応えることができ、さらなる利用の増や新規利用者増につながった。
28	新型コロナウイルス感染症対策事業(商店街活性化)	①新型コロナウイルス感染症の影響による消費低迷や、エネルギー・食料品価格等の物価高騰等の影響を受けている市内の飲食業や関連事業の経済活性化を図ることを目的に、市内の飲食店等が一体となり実施する、「はしご酒」イベントの事務経費及びプレミアム分に対し補助を行う。 ②補助金 ③印刷製本費(ハット、ポスター、チケット印刷代) = 600千円 ・広告掲載費(フリーペーパー3社) = 500千円 ・WEBサイト製作費 = 450千円 ・チラシ折込費用(50,000枚×5円) = 250千円 ・プレミアム経費①(3,000円×4,000冊) = 12,000千円 ※6,000円の商品券を3,000円で販売するプレミアム経費 ・プレミアム経費②(500円×24,000冊) = 12,000千円 ※各店舗が来場者に対し、チケット以上のサービスを提供するプレミアム経費 ・景品代(抽選会景品) = 300千円 ・謝金 970円×9h×26日間×3人 = 680千円 ④八代社交飲食業組合加盟店	R5.1	R5.2	40,630,000	40,630,000	八代市地域経済活性化事業補助金(はしご酒) 40,630,000円	コロナ感染対策を行っている市内飲食店が一体となって「はしご酒」を実施することで多くの方が飲食を楽しみ、また飲食店関連業種まで経済波及効果があり、コロナ禍で続いた自粛ムードから再び飲食を通じた楽しい交流の機会や安心して出かけられる雰囲気作りを促進することができた。
29	地球温暖化対策推進事業(重点交付金分)	①コロナ禍においてエネルギー等の価格高騰に伴い、各家庭のエネルギー費用の負担軽減を図ることを目的に、省エネ法に基づく省エネ基準達成率が高いエアコン又は冷蔵庫の買い換えを支援するための補助を行う。 ②補助金 ③エアコン又は冷蔵庫いずれかの購入金額5万円以上(付帯工事含む)に対し、定額2万円を補助。なお、補助は1世帯につき1台までとし、市内店舗での購入に限る。 ・補助金:20,000円×400台=8,000千円 事務補助員人件費(会計年度任用職員分):241千円 (報酬)108,397円×1人×2か月=217千円 (通勤手当)20千円 (雇用保険料)4千円 ・印刷製本費:679千円 [内訳] (チラシ印刷費用)9.3円×50,200枚×1.1=513,546円 (チラシ折込費用)3円×50,000枚×1.1=165,000円 (そのうち4,417,000円を国のR4予算で対応) ④市内在住で、申請時点において本市の住民基本台帳に記録があり、市税等の滞納がない者	R4.12	R5.3	2,709,200	2,709,200	省エネ家電への買い換え763台 (エアコン:229台、冷蔵庫:534台) ※No.50を含む	省エネ家電への買い換え促進により各家庭のエネルギー消費量の削減、ひいては電気代の負担軽減に寄与した。 【参考】 ○エアコン:10年前と比べると約10%(約90kWh/年)の省エネとなり、電気代換算で年間約2,850円の節約。 ○冷蔵庫:10年前と比べると約39~46%(約200kWh/年)の省エネとなり、電気代換算で年間約5,300~7,160円の節約。 (出典:経済産業省「省エネポータルサイト」)
30	新型コロナウイルス感染症対策事業(高齢者施設等における物価高騰対策支援)	①コロナ禍で物価高騰を受ける高齢者施設等に対し支援を行うことにより、物価高騰の影響を軽減し、施設の安定した運営を確保する。 ②光熱費等の物価上昇相当分に対する一部支援に要する経費 ③入所系・通所系施設はサービスの種別及び施設規模に応じた補助単価、訪問系施設は1事業所当たりの補助単価を設定。 <入所系施設> 全50事業所 16,960,000円 定員19人以下 80,000円×18事業所=1,440,000円 20~39人 265,000円×11事業所=2,915,000円 40~69人 495,000円×13事業所=6,435,000円 70~89人 725,000円×6事業所=4,350,000円 90人以上 910,000円×2事業所=1,820,000円 <入所系施設(有料老人ホーム)> 全65事業所 7,565,000円 定員19人以下 40,000円×26事業所=1,040,000円 20~39人 130,000円×30事業所=3,900,000円 40~69人 245,000円×7事業所=1,715,000円 70~89人 360,000円×0事業所=0円 90人以上 455,000円×2事業所=910,000円 <通所系施設> 全106事業所 7,150,000円 定員35人以下 55,000円×84事業所=4,620,000円 36人以上 115,000円×22事業所=2,530,000円 <訪問系施設> 1事業所当たり 40,000円×33事業所=13,400,000円 ④市内高齢者施設等	R5.1	R5.3	38,540,000	38,540,000	<支援事業所数・支援額> 入所系施設(高齢) 64事業所 18,590,000円 入所系施設(有料老人ホーム) 69事業所 8,110,000円 通所系施設(高齢) 96事業所 6,480,000円 訪問系施設(高齢) 134事業所 5,360,000円	市内高齢者施設数が横ばいで推移しているため、コロナ禍にあって、原油価格等の物価高騰の影響を受ける高齢者施設等の事業継続に寄与することができた。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
31	八代市障害福祉サービス等事業所物価高騰対策支援金支給事業	①コロナ禍で物価高騰を受ける障害福祉サービス事業者等に対し支援を行うことにより、物価高騰の影響を軽減し、施設の安定した運営を確保する。 ②光熱費等の物価上昇相当に対する一部支援に要する経費 ③入所系・通所系施設は定員1人当たり、訪問系施設は1事業所当たりの補助単価を設定。 ・入所系(1事業所当たり定員) 定員19人以下 80,000円×36事業所=2,880,000円 定員20~39人 265,000円×1事業所= 265,000円 定員40~69人 495,000円×2事業所= 990,000円 ・通所系(1事業所当たり定員) 定員35人以下55,000円×88事業所=4,840,000円 定員36人以上 115,000円×4事業所=460,000円+T52 ・訪問系:40,000円×17事業所=680,000円 ④市内で事業を実施する障害福祉サービス事業所	R5.1	R5.3	9,135,000	9,135,000	・入所系(1事業所当たり定員) 定員19人以下 80,000円×15事業所=1,200,000円 定員20~39人 265,000円×4事業所=1,060,000円 定員40~69人 495,000円×2事業所=990,000円 ・通所系(1事業所当たり定員) 定員35人以下55,000円×79事業所=4,345,000円 定員36人以上 115,000円×4事業所=460,000円 ・訪問系:40,000円×27事業所=1,080,000円	コロナ禍で物価高騰の影響を受ける障害福祉サービス事業者に対し支援を行うことにより負担を軽減し、施設の安定した運営を確保することができた。
32	保育所等物価高騰対策支援金支給事業	①コロナ禍において、電気・ガス等の価格高騰の影響を受けている保育所等に対し、安定的な保育や子育て支援サービスの提供を確保するため、物価高騰相当分の一部を補助する。 ②補助金 ③定員区分当たり補助基準額を設定。 ・保育所・認定こども園・地域型保育事業所:11,415,000円 1)定員19人以下 60,000円(補助基準額×3/4)×3施設=135,000円 2)定員20人~59人 200,000円(補助基準額×3/4)×14施設=2,100,000円 3)定員60人以上 360,000円(補助基準額×3/4)×34施設=9,180,000円 ・認可外保育施設・私学助成幼稚園:305,000円 1)定員19人以下 60,000円(補助基準額×1/4)×1施設=15,000円 2)定員20人~59人200,000円(補助基準額×1/4)×4施設=200,000円 3)定員60人以上 360,000円(補助基準額×1/4)×1施設=90,000円 ・放課後児童クラブ:1,685,250円 1)定員19人以下21,000円(補助基準額×3/4)×5施設=78,750円 2)定員20人~59人70,000円(補助基準額×3/4)×27施設=1,417,500円 3)定員60人以上126,000円(補助基準額×3/4)×2施設=189,000円 ・子育て支援センター:101,250円 1)定員19人以下27,000円(補助基準額×3/4)×5施設=101,250円 ④市内に施設を有する保育所等(公立施設は除く)	R4.4	R5.3	17,602,000	9,992,000	・保育所、認定こども園、地域型保育事業所 <b>支出済額:15,220,000円</b> 1)利用定員19人以下 60,000円×3施設=180,000 2)利用定員20人以上59人以下 200,000円×14施設=2,800,000 3)利用定員60人以上 360,000円×34施設=12,240,000  【歳入】 県保育所等物価高騰対策支援金補助金: 7,610,000円  ・放課後児童クラブ: <b>2,247,000円</b> 1)定員19人以下21,000円×5施設=105,000円 2)定員20人~59人70,000円×27施設=1,890,000円 3)定員60人以上126,000円×2施設=252,000円  ・子育て支援センター: <b>135,000円</b> 1)定員19人以下27,000円×5施設=135,000円	コロナ禍における物価高騰の影響を受ける光熱水費、燃料費等の費用を支援することで、事業所(保育所等、放課後児童クラブ、子育て支援センター)の負担軽減を図り、安定的な運営を確保することができた。
33	八代市配合飼料価格高騰対策支援事業(重点交付金分)	①コロナ禍における飼料価格高騰に係る畜産農家の負担を軽減し、もって畜産経営の安定に寄与するため、配合飼料購入経費のうち価格高騰相当分の一部補助を行う。 ②補助金 ③33,000,000円 5,000円/t(補助単価)×5,452t(購入数量) ※R4.1.1~R4.12.31に購入した配合飼料(そのうち16,500,000円を国のR4予算で対応) ④市内に本社事業所を有する畜産農家	R4.11	R5.3	16,500,000	16,500,000	申請件数:11件 申請数量:7,964t 補助金額:39,820,000円	本事業の成果目標を「畜産農家の経営体数の維持」とし、令和5年度に全ての畜産農家へヒーリングを実施したところ、全員が事業を継続しており、目標を達成している。
34	原油高騰対策運送事業者等緊急支援事業	①コロナ禍においてエネルギー等の価格高騰に伴い、物資の運送等の事業者において燃料費の負担軽減を図ることを目的に、貨物自動車運送業・自動車運転代行業に使用される緑、黒ナンバーの車両に対し、燃料費のうち価格高騰相当分の一部補助を行う。 ②補助金 ③普通貨物 1,200台×支援額40,000円=48,000千円 小型貨物(軽以外) 600台×支援額30,000円=18,000千円 貨物自動車(軽) 200台×支援額20,000円=4,000千円 ④市内に事業所等を置く中小企業又は個人事業者で、貨物自動車運送業・自動車運転代行業を営むもの	R4.12	R5.2	49,760,000	49,760,000	原油高騰対策運送事業者等緊急支援補助金 49,760,000円 <内訳>90社 普通貨物自動車 955台 小型貨物自動車 372台 小型貨物自動車(軽)6台 随伴用登録車両 14台	物流関連団体からの要望もあってのことから、物流企業の経費負担の軽減に寄与できたことに加え、市民生活や産業活動を支える物流が滞りなく機能している。
35	新型コロナウイルス感染症対策事業(熊本県時短要請協力金負担金)	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、熊本県が実施した時短要請に協力した本市の飲食店に対し支払った時短要請協力金について、支給総額の一部を負担金として県に支払う。 ②負担金(負担割合:国が8割、県が1割、市町村が1割) ③1,159,678千円×10%=115,968千円 (熊本県が事業者に対し令和4年1月21日~2月13日、令和4年2月14日~3月21日の期間の時短要請に対して支払った協力金額) ④熊本県	R5.1	R5.3	115,967,800	115,967,800	時短要請協力金一部負担金 115,967,800円	負担金を支出することで、熊本県において時短要請協力金の安定的な支出が可能になり、ひいては市内飲食店等の支援へと繋がった。
36	高速バス運賃割引事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、本市と阿蘇くまもと空港をつなぐ唯一の直結型高速バス(すーぱーばんべいゆ)の利用者が激減していることから、事業の継続性の確保を目的として、公共交通機関として感染防止に努めた上で、利用者の増加を図るために運賃割引の補助を行うもの。 ②補助金 ③500円×10,000枚=5,000千円 ※大人片道運賃1回あたり500円割引 ④運行事業者	R4.11	R5.2	5,000,000	5,000,000	事業期間内に予定販売数を完売した	コロナ禍により極端に落ち込んだ高速バスの利用を喚起し、「広域的な移動」の増加を促したことで、高速バスの事業継続性の確保につながった。
37	新型コロナウイルス感染症対策事業(生活交通確保維持)(タクシーチケット分)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、タクシー利用者が低迷していることから、タクシーの利用促進を図るとともに交通事業に対する経営支援を目的として、タクシーチケット割引補助事業の事務経費及びタクシーチケットプレミアム分への補助を行うもの。 ②補助金 (5千円分のチケットを3千円で販売、チケット1枚500円の10枚綴り) ③・販売事務経費 1,000千円 【内訳】 チケット印刷代5,000セット×82円×1.1=451,000円 チラシ印刷代10,000枚×11.6円×1.1=127,600円 振込手数料880円×8社×6か月=42,240円 人件費(任期の定めのない常勤職員の給料分を除く) 108,397円×8か月×0.5=433,588円 小計1,054,428円 ・プレミアム分(購入費3,000円/冊) 2,000円×5,000冊=10,000千円 ④タクシー運行事業者(タクシー協会八代支部)	R4.10	R5.2	10,716,800	10,716,800	事業期間内に予定販売数を完売した チケットの利用率は97.2%であった	コロナ禍により極端に落ち込んだタクシーの利用を喚起し、「地域内の移動」の増加を促したことで、タクシー運行事業者の経営支援につながった。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
38	新型コロナウイルス感染症対策事業(予防対策継続支援)	①新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を、引き続き防止していくため、対面での接客等を伴う事業者に対し、感染拡大防止対策に要する経費の一部(3/4)を補助する。 ②補助金 ③81,000千円 店舗施設等:上限100千円/件×750件=75,000千円 タクシー等:上限30千円/台×200台=6,000千円 ※1事業者あたりの補助上限額は1,000千円 申請期間:令和4年10月~令和5年1月 対象経費:下記のうち、令和4年4月1日以降に購入した費用 サーキュレーター、アクリル板、空気清浄機、消毒液、マスク、など購入経費 など ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):40,500千円充当 ④八代市内事業者(対面での事業を営む事業所)	R4.10	R5.1	37,401,000	18,711,000	感染症予防対策補助金492件37,401,000円	当該補助金により、充実した新型コロナウイルス感染症予防対策を講じることができ、感染拡大の抑止となった。
39	新型コロナウイルス感染症対策事業(情報発信支援)	①新型コロナウイルス感染症の感染が急激な増加傾向にある中で、新型コロナウイルス感染症対策に関する事業者や市民への啓発、正確な情報発信を行うことで感染拡大防止を図る。 ②委託料 ③・市報への折込(チラシ作成含む) 460,000円 ・動画作成 200,000円 ・会報誌の発行 36,000円×3回=108,000円 ・封筒費用 50,000円 ・郵送料 6,000通×84円=504,000円 ・アドバイザー費用 100,000円×4団体=400,000円 ※4団体(本町1丁目・本町2丁目・本町3丁目・通町) ・ホームページ改修費 350,000円 ・のぼり旗作成費用 500個×600円=300,000円 ・一般管理費 355,273円 ・消費税 272,727円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):1,500千円充当 ④安心なまち やつしろプロジェクト加盟店	R4.10	R5.3	3,000,000	1,500,000	感染防止対策情報発信業務委託 3,000,000円	感染防止対策実施店舗を直接訪問したりチラシ等で周知することで、新型コロナウイルス感染症対策実施店舗が141店舗増加(2,181店舗→2,322店舗)し、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与した。
40	新型コロナウイルス感染症対策事業(商店街にぎわい回復環境整備支援)	①コロナ禍において、人通りが多く商店が集中する商店街周辺が敬遠され、商店街の衰退により魅力が低下し、治安の悪化が懸念される。そのため、夜間においては暗い通りを避け、明るい通りへ人が集中することでコロナの感染リスクが高まるため、明るい通りを増やし、人を分散させることで、生活者が安全・安心に買い物や飲食を楽しんでいただけるよう、照明のLED化等の環境整備を支援する。 ②補助金 ③本町二丁目アーケード照明LED化 事業費3,000千円×2/3=2,000千円 本町三丁目アーケード照明LED化及びスピーカー修繕 事業費3,000千円×2/3=2,000千円 ※その他特定財源(熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金):2,000千円充当 ④商店街振興組合	R4.11	R5.2	3,790,000	1,895,000	商店街環境整備事業補助金 3,790,000円 (内訳) ・本町二丁目アーケード照明LED化 2,000,000円 ・本町三丁目アーケード照明LED化及びスピーカー修繕 1,790,000円	照明のLED化により、通り一帯が明るくなったことで人の分散が図られコロナ感染リスクの低減に繋がった。
41	新型コロナウイルス感染症対策事業(図書館管理運営)	①新型コロナウイルス感染症防止策として、利用者のICタグを導入し、セルフ貸出機、セキュリティゲート等を設置し、非接触型の貸出システムとすることで、利用者の安心・安全を確保するとともに、DX化で図書館運営の効率化を図り、新たな図書館サービスの充実を図る。 ②消耗品費、備品購入費、委託費、使用料 ③消耗品費 ・ICタグ105,000冊×90円×1.1=10,395千円 備品購入費 ・ICアンテナ2式×500千円×1.1=1,100千円 ・ICアンテナ5式×300千円×1.1=1,650千円 ・セキュリティゲート2機6,530千円×1.1=6,985千円 委託費 ・ICタグ貼付け委託105,000冊×20円×1.1=2,310千円 ・ICタグ読込作業システム使用料17,500円×5か月×1.1=97千円 ・ICタグ機器図書システム導入委託722,500円×1.1=795千円 使用料 ・セキュリティゲート2機6,530千円×1.1=6,985千円 ④八代市民	R4.9	R5.3	22,368,500	22,368,500	・ICタグ購入 9,817,500円 ・ICタグ管理システム関連機器購入 9,680,000円 ・バーコード貼付作業委託 1,980,000円 ・ICタグ機器導入作業委託 739,750円 ・ICタグ貼付用ネットワーク利用料 55,000円 ・ICタグシステム保守点検業務委託 55,000円 ・システム使用料 41,250円 合計 22,368,500円	図書館において、利用者の感染リスクの軽減が図られるとともに安心・安全な環境が構築できた。また、利用者からは、貸出時が簡単に時間も短く便利になったという声が聞けた。 今後、不明本が無くなり、蔵書点検の日数や延べ点検人員が少なくなるなど図書館管理運営につながってほしい。
42	新型コロナウイルス感染症対策事業(八代市農林漁業所得減少対策特別支援金)	①コロナ禍における資材の高騰等により、経費が増加し所得が減少した農林漁業者に対して、経営の安定を図るために支援するもの。 ②支援金(定額) ③214,055,000円 ・支援金:個人100,000円×1,935件=193,500,000円、 法人200,000円×101件=20,200,000円 ・事務費:355,000円(郵便料) (そのうち71,254,000円分を国R4予算で対応) ④R3の農林漁業所得がマイナスとなっており、その額が10万(20万)円以上、または、過去3カ年(H29~R1)の平均所得よりも減少している市内農林漁業者	R4.6	R5.3	59,738,348	59,738,348	【支援金】 個人100,000円×576件=57,600,000円 法人200,000円×10件=2,000,000円 【事務費】(郵便料) 138,348円	農林漁業者に対し、経営の安定を図るために支援したものであり、申請された方々には、喜んでいただき、新型コロナウイルス感染拡大時の農業経営の維持に寄与した。
43	教育支援体制整備事業費交付金	①新型コロナウイルスの感染リスク軽減のため、幼稚園においてICT機器を導入することで、接触や接近の回数を減らし、切れ目のない保育環境及び保育機会の提供が行えるようになる。また、インターネット環境を整備することで、コロナ感染等による臨時休園においても、保護者と円滑に情報共有ができ、教職員の事務負担の軽減が出来る。 ②幼稚園の各教室にICT機器を整備する。 ③・アクセスポイント 90,000円×5台×1.1×6園=2,970,000円 ・タブレットパソコン 78,300円×4台×1.1×6園=2,067,120円 ・タブレットパソコンカバー 10,500円×4台×1.1×6園=277,200円 (そのうち3/4の3,984,000円を県の補助金から、1/4の1,330,320円を国予算で対応) ④八代市立幼稚園6園	R4.4	R5.3	5,042,400	1,340,400	幼稚園の各教室にICT機器を整備する。 ・アクセスポイント 82,000円×5台×1.1×6園=2,706,000円 ・タブレットパソコン 78,500円×4台×1.1×6園=2,072,400円 ・タブレットパソコンカバー 10,000円×4台×1.1×6園=264,000円	幼稚園においてICT機器を導入することで、接触や接近の回数を減らし、切れ目のない保育環境及び保育機会の提供が行えるようになり、コロナ感染等による臨時休園においても、保護者と円滑に情報共有ができ、教職員の事務負担の軽減が出来るようになった。また、新型コロナウイルスの感染リスク軽減に役立った。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
44	妊娠出産子育て支援交付金	①コロナ禍において物価高騰に直面する妊娠・出産した方の経済的支援及び妊娠前から子育て期までの継続的な伴走型相談支援を行う。 ②交付金 ③・出産・子育てギフト、伴走型相談支援(国2/3、県1/6、市1/6) 会計年度任用職員報酬等:742,000円 消耗品費:100,000円 印刷製本費:168,000円 通信運搬費:530,000円 交付金(出産応援ギフト):60,000,000円(妊婦1,200人×50,000円) 交付金(子育て応援ギフト):37,500,000円(出生750人×50,000円) システム構築等導入経費(国10/10) システム改修委託料:3,000,000円 ④令和4年度中に妊娠・出産した方	R5.2	R5.3	71,847,373	11,451,209	妊娠期のお産応援ギフト:886件 44,300,000円給付 出産後の子育て応援ギフト:488件 24,400,000円給付 職員時間外:771,164円 消耗品費:56,955円 パフォーマンスチャージ:35,000円 印刷製本費:108,966円 通信運搬費:184,288円 給付事務に係るシステム改修:1,991,000円	妊娠期から、経済的な支援と伴走型の相談支援により、妊娠中の不安の軽減と、安心安全な出産・子育てに繋がった。
45	学校臨時休業対策費補助金	①新型コロナウイルス感染症対策による、小・中・支援学校の臨時休業、学年閉鎖、学級閉鎖に伴い廃棄した食材等に要した経費を補償することで、食材の処分経費を保護者負担としないもの。 ②学校給食中止に伴う食材廃棄処分経費 ③707千円 R4 1.2学期実績 626,461円 R4 3学期見込 79,698円 ④保護者(交付対象は、八代市の共同調理場、単独調理校)	R4.4	R5.3	634,817	634,817	【1学期】 ごはん・牛乳 42,934円 その他物資 514,661円 【2学期】 ごはん・牛乳 10,606円 その他物資 58,200円 【3学期】 ごはん・牛乳 3,376円 その他物資 5,040円 計 634,817円	給食中止となった時の食材費を補助することで、保護者の負担を軽減することが出来た。
46	新型コロナウイルス感染症対策事業(デジタルプレミアム商品券)(第2弾)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰などに直面する市民や事業者への支援を目的にデジタル型プレミアム商品券を発行し、市民がデジタルを体感しながらお買い物をするここと、消費喚起・経済活性化を図る。 ②委託料・負担金 ③・デジタルプレミアム商品券委託料:70,000,000円 (内訳)1.管理システム構築・管理業務:6,266,000円 2.電子カード製作業務:8,364,000円 3.電子カード発送業務:9,102,000円 4.換金請求業務:2,350,000円 5.取扱店舗説明会:300,000円 6.利用可能店舗向け発送業務:732,000円 7.コールセンター設置:4,725,000円 8.決済端末貸出:5,400,000円 9.振込手数料:28,019,400円 10.申込交付業務:1,000,000円 11.報告書作成:50,000円 12.利用者向けサポート:1,960,000円 13.一般管理費(1~12の経費の10%):6,826,840円 14.期間延長に係る周知:1,874,400円 15.利用可能店舗管理:436,000円 16.広告宣伝費:3,300,000円 17.人件費:500,000円 18.一般管理費(13~17の経費の10%):611,040円 19.:消費税:8,181,668円 【要求修正】63,690,990円×1.1=70,060,089円 ・デジタルプレミアム商品券負担金:80,000,000円 (内訳)カード式 400円×200,000口=80,000,000円 (のうち50,000,000円を国のR3予算で対応) ④令和5年1月1日現在の八代市住民基本台帳に記載された方	R5.2	R5.3	70,000,000	70,000,000	八代市デジタルプレミアム商品券事業(期間延長分)業務委託 70,000,000円	全市民を対象とした経済対策を講じながら完全デジタル化で実施できたことで、市民がデジタルに触れる機会を創出でき、ひいては新型コロナウイルス感染症の予防に繋がり、市民が安心・安全に買い物を楽しむことができた。
47	八代市施設園芸燃油価格高騰対策支援事業	①コロナ禍における燃油価格高騰の影響を受けている施設園芸農家の負担を軽減することにより、農業経営の安定化を図るため、燃油代の一部を補助するもの。 ②令和3年度の施設園芸に係る加温を目的に使用したA重油・灯油の購入費の一部を補助 ③補助額:5円×30,000,000=150,000,000円 事務費:113,000円(郵便料) 合計:150,113,000円 (のうち75,057,000円を国のR3予算で対応) ④市内の施設園芸農家	R4.6	R4.10	35,135,095	35,135,095	申請件数:605件 申請数量:27,081,821 補助金額:135,409,105円	本事業の成果目標を「施設園芸(加温)作付面積の維持」とし、県が公表する令和2年度と令和4年度の作付面積を比較して効果検証を行うこととしている。 令和4年度の作付面積は、令和6年3月に県から公表されることから、その際に効果検証を行う。
48	肥料価格高騰対策事業	①コロナ禍による肥料価格の高騰により、農家の経営に大きな影響を与え、農家の負担の軽減と経営の維持を図ることを目的として、肥料費のうち価格高騰相当分の一部補助を行う。 ②補助金 ③6.824,9ha(市内作物作付面積)×351,642円/ha(肥料代加重平均)=2,399,921,486円(肥料費) 2,399,921,486円(肥料費)-(2,399,921,486円(肥料費)÷1.5(価格上昇率)÷0.9(使用低減率))×0.15=93,330,280円 ※R4.6~R5.5に購入した肥料 前年度から増加した肥料費の15% (のうち10,000,000円を国のR3予算で対応) ④市内の農業者	R4.4	R5.3	10,000,000	10,000,000	申請者数:23件 参加農業者数:1141戸 補助金額:14,733,800円	肥料価格の高騰により影響を受けている農業者の経営安定、事業継続に寄与できた。 化学肥料低減に取り組む農業者数は目標に届かなかったが、事業は繰越し、R5年度も実施しているため、その際に再度効果検証を行う。
49	八代市配合飼料価格高騰対策支援事業	①コロナ禍における飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家の負担を軽減することにより、畜産経営の安定化を図るため、配合飼料購入経費のうち価格高騰相当分の一部補助を行う。 ②補助金 ③27,260,000円 5,000円/t(補助単価)×5,452t(購入数量) ※R4.1~R4.12.31に購入した配合飼料 (のうち16,500,000円を国のR3予算で対応) ④市内に本社事業所を有する畜産農家	R4.11	R5.3	23,320,000	23,320,000	申請件数:11件 申請数量:7,964t 補助金額:39,820,000円	本事業の成果目標を「畜産農家の経営体数の維持」とし、令和5年度に全ての畜産農家へヒアリングを実施したところ、全員が事業を継続しており、目標を達成している。

No	事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業実績	効果
50	地球温暖化対策推進事業	①コロナ禍においてエネルギー等の価格高騰に伴い、各家庭のエネルギー費用の負担軽減等を図ることを目的に、省エネ法に基づく省エネ基準達成率が高いエアコン又は冷蔵庫の買い換えを支援するための補助を行う。 ②補助金 ③エアコン又は冷蔵庫いずれかの購入金額5万円以上(付帯工事含む)に対し、定額2万円を補助。なお、補助は1世帯につき1台までとし、市内店舗での購入に限る。 ・補助金:20,000円×400台=8,000千円 ・事務補助員人件費(会計年度任用職員分):401千円 [内訳] (報酬)108,397円×1人×3か月=326千円 (通勤手当)4,200円×1人×3か月=13千円 (社会保険料)54千円 (雇用保険料)6千円 (労災保険料)2千円 ・印刷製本費:594千円 [内訳] (チラシ印刷費用)7.8円×50,000枚×1.1=429,000円 (チラシ折込費用)3円×50,000枚×1.1=165,000円 (そのうち4,418,000円を国のR3予算で対応) ④市内在住で、申請時点において本市の住民基本台帳に記録があり、市税等の滞納がない者	R4.12	R5.3	13,144,494	13,144,494	省エネ家電への買い換え763台 (エアコン:229台、冷蔵庫:534台) ※No.29を含む	省エネ家電への買い換え促進により各家庭のエネルギー消費量の削減、ひいては電気代の負担軽減に寄与した。  【参考】 ○エアコン:10年前と比べると約10%(約90kWh/年)の省エネとなり、電気代換算で年間約2,850円の節約。 ○冷蔵庫:10年前と比べると約39~46%(約200kWh/年)の省エネとなり、電気代換算で年間約5,300~7,160円の節約。 (出典:経済産業省「省エネポータルサイト」)
51	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	①保護決定等体制強化事業:生活保護決定に必要な預貯金調査・生命保険調査や年金調査等をケースワーカーが行うのではなく、生活保護業務事務補助員(会計年度任用職員)が行うことにより、新型コロナウイルス感染症の影響による保護決定の件数の増加に対応し、必要な方へ必要な生活保護が滞りなく決定されるようにする。 ②職員手当等、報酬、共済費、旅費 ③支出予定額:3,942,705円 会計年度任用職員手当等 期末手当:136,041円×2回×2人=544,154円 報酬 113,368円×12月×2人=2,720,832円 共済費 社会保険料:1,669,698円×157.20/1000=262,476円 市町村共済費:1,669,698円×166.23/1000=277,553円 市町村共済費(事務費負担金):960円×2人×6月=11,520円 雇用保険料:3,339,396円×15.5/1000=51,760円 旅費 (4,200円×12月)+(2,000円×12月)=74,400円 ④会計年度任用職員(生活保護業務事務補助員)	R4.4	R5.3	3,864,896	966,896	①保護決定等体制強化事業:生活保護決定に必要な預貯金調査・生命保険調査や年金調査等をケースワーカーではなく、生活保護業務事務補助員(会計年度任用職員)が行うことにより、新型コロナウイルス感染症の影響による保護決定の件数の増加に対応し、必要な方へ必要な生活保護が滞りなく決定されるよう実施した。 ②職員手当等、報酬、共済費、旅費 ③支出額:3,864,896円 会計年度任用職員手当等 期末手当:540,246円 報酬 113,368円×12月×2人=2,720,832円 共済費 267,803+261,615=529,418円 旅費 (4,200円×12月)+(2,000円×12月)=74,400円 ④会計年度任用職員(生活保護業務事務補助員)	ケースワーカーの負担が軽減され、生活保護業務を滞りなく実施することができた。
52	保育対策総合支援事業費補助金	①新型コロナウイルスの感染リスク軽減のため、保育所においてICT機器を導入することで、職員と園児との接触や接近の回数を減らし、切れ目のない保育環境及び保育機会の提供が行えるようになる。また、インターネット環境を整備することで、新型コロナウイルス感染症罹患時の臨時休園においても、保護者と円滑に情報共有ができ、職員の事務負担の軽減が出来る。 ②補助金 ③750,000円×4園=3,000,000円 ④八代市立保育所 4園	R4.4	R5.3	3,000,000	1,000,000	ICT機器を導入した費用に対する補助。 対象事業所:私立保育所4施設 750,000円×4施設=3,000,000円 支出済額:3,000,000円  【歳入】 ・保育対策総合支援事業費補助金:2,000,000円	ICT機器を導入することで、職員や園児との接触回数が減り、新型コロナウイルスの感染リスクが軽減された。また、感染した職員や児童とも円滑な情報共有を行うことができ、職員の事務負担軽減にも繋がった。
合計					1,469,983,188	1,112,187,799		